

No92 上肢(肘、前腕、手関節)の手術を受ける患者様へ ～経口補水療法～

ID @PATIENTID

氏名 @PATIENTNAME

月日	入院当日・手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目～
経過 目標	手術に対する不安が最小限である。			麻酔・手術後の経過に問題がない。
治療 処置	<ul style="list-style-type: none"> 家で飲んでいるお薬がある場合は看護師にお知らせください。 目薬・貼り薬・塗り薬も教えて下さい。 痛みがある場合は、坐薬や飲み薬を使います。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術する部位に印を付けます。 指示のあった薬のみ内服します。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示があるまで酸素マスクをつけます。 手術後に、抗生剤を投与します。 痛みがある場合は坐薬や注射、飲み薬を使います。 尿道に管が入ってくる場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝に抗生剤を投与します。点滴が終了し次第、針を抜きます。 朝、尿道の管を抜きます。 手術後の傷の状態にもよりますが、手術後1日目で退院となります。  
検査 測定	<ul style="list-style-type: none"> 入院時に検温(体温・脈拍・血圧などの測定)を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術前に検温を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 帰室直後から、翌日の朝まで、検温(体温・脈拍・血圧などの測定)を行います。 	
入院 生活	食事 <ul style="list-style-type: none"> ()食になります。 21時以降、食事することはできません。 飲水は可能です。(指示のあった飲料水を摂取してもらいます) 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、食事はできません。 AM6時30分・AM10時 まで飲水は可能です。(指示のあった飲料水を摂取してもらいます) 	<ul style="list-style-type: none"> 酸素終了後、飲水が開始となります。飲水時にムセ込みなど無ければ、食事も可能となります。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝から食事が始まります。 ()食になります。
	活動 <ul style="list-style-type: none"> 三角巾での固定を行う場合があります。 特に活動の制限はありません。 		<ul style="list-style-type: none"> 酸素終了後より、歩行可能です。 手術した上肢は装具での固定や三角巾固定をする場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 腕を固定したまま歩くことができます。 リハビリを行う場合があります。
	清潔 <ul style="list-style-type: none"> シャワーにお入り下さい。(三角巾での固定を行っている方は、シャワー浴時に外すことができます。シャワー浴後に看護師に固定を確認してもらってください) 一人でシャワーを浴びることができない方は看護師がお手伝いします。 			<ul style="list-style-type: none"> 上肢の固定や傷を濡らさないようにシャワー浴を行うことができます。 洗髪をすることができます(清拭室の洗髪台を使用してください) ☆自分で行う事ができない場合は、看護師がお手伝いします。
説明	<ul style="list-style-type: none"> 手術の前日までに主治医より手術についての説明があります。 看護師より入院生活、および手術前後の生活について説明があります。 薬剤師より、内服薬について説明させて頂くことがあります。 手術同意書を看護師にお渡しください 		<ul style="list-style-type: none"> ご家族は、術中・術後は連絡が取れるようにしてください。(手術中は原則、手術室の控室か病棟でお待ちください。) 後本人、またはご家族の方に主治医より手術後の説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ★退院後の生活について ①傷はまだ抜糸されていません。傷のガーゼは次回の外来までそのままにしておいてください。 ②傷は濡らしたり、ぶついたりしないように気をつけましょう。 ③傷自体の痛みは徐々に落ち着いていきます。必要にあわせて痛み止めの薬を飲むなどします。 ④もし急な高熱や傷口のガーゼに出血や液状の汚れなどの増量を認めたら、予約なしでも外来受診をしましょう。休日の場合は病院へ電話で連絡しご相談下さい。 ⑤シャワーは傷を濡らさないように使用してください。 ⑥自宅でのリハビリは医師の指示に従っていきましょう。